

地域で暮らすセネガル人との連携 :高麗祭でのセネガル料理出店

城西大学 経済学部 勝浦ゼミ
EE19316 石原直樹

目次

- 勝浦ゼミが高麗祭で出店したセネガル料理中心のお店について
- セネガル人と連携して高麗祭でお店を出すようになった理由
- セネガル人と連携して思ったこと

高麗祭で出店したセネガル料理

高麗祭2019



Senegal Lunch

Menu

| | |
|---------------|--------|
| yassa | 500yen |
| ヤッサ | |
| baby castilla | 200yen |
| ベビーカステラ | |
| drink | 100yen |
| ドリンク | |

Place
城西大学 坂戸キャンパス1号館前

Date
11/23 9:00-17:00
11/4 9:00-15:00

Twitter Facebook Instagram

ヤッサとは？



- セネガルで人気の伝統料理。
- 鶴ヶ島市で暮らすセネガル人のハディさんに、来場者に本場の味を楽しんでもらうため、一晩煮込んで作ってもらった。
- レシピは詳しくわからないが、鶏もも肉、玉ねぎ、にんじん、じゃがいもを煮込んだ料理。
- 見た目はカレーに似てるが、味は肉じゃがに似ている。



- 一番左の女性がハディさん
- ヤッサを作ってくれた人
- セネガル人と連携できた理由に大きく関係

会計のお仕事



セネガル人と連携できた理由①



- 5年続いた「つるがしマルシェ」という勝浦ゼミ主催の国際フェスティバルに参加したことが縁の始まり。
- 若葉駅西口広場で開催
- 会場のステージでは、ブラジル音楽、ドラムを披露
- マーフェ（アフリカのシチュー）、ヤッサ（煮込み料理）などセネガル料理のお店も出た。

セネガル人と連携できた理由②



- その後、2018年サッカーワールドカップの予選において、日本とセネガルが対戦することをきっかけとして、「地域の方々にセネガルのことをもっと知ってほしい」というセネガル人のハディさんたちの提案を受け、勝浦ゼミ生たちがセネガル祭をサポート。
- 坂戸市文化会館で開催
- セネガルの紹介をはじめ、セネガル太鼓、セネガルの料理の紹介、ダンスなど披露した。

セネガル人と連携してみて



- ▶ セネガル人は見た目が少し怖いと思われてしまう。
- ▶ つるがしマルシェを開催したきっかけも、シルビオさんという日系ブラジル人が、困っている地域の人を助けようとしたのに、「怖いから...」と断られたことがきっかけ。
- ▶ 見た目で見断されることは、精神的に相当つらいこと。

セネガル人と連携してみて（まとめ）



- ▶ 話してみるととてもいい人。
- ▶ 地域に住んでいるセネガル人、その他多くの外国人の国についてもっと知る必要がある。
- ▶ 国籍・人種を問わず交流し、理解し合える場というものが大事。
- ▶ 日本人同士はもちろん、外国人同士も、日本人と外国人も関係なく、困った時は助け合わないといけない。